



2025年2月21日

各位

会社名 GFA株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード: 8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

Metabit. SDN. BHD. との個別開発契約締結に関するお知らせ

当社は、2025年2月7日付けPR情報「Metabit. SDN. BHD. との戦略的開発パートナーシップ提携に関するお知らせ」のとおり、マレーシアジョホール州にてブロックチェーン開発事業を行っているMetabit. SDN. BHD. (以下、「Metabit」といいます。) と、戦略的開発パートナーシップ提携を行っておりますが、今般、正式にMetabitと個別開発契約を本日締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 個別開発契約締結の背景

当社は、不動産・金融事業を本業とし、最先端のメタバース空間の展開を含めた様々な事業開発・金融支援を行っており、暗号資産事業においても当社子会社であるGFA Capital株式会社(以下、「GFA Capital社」といいます。)がディーリング業務を開始するなど、WEB3領域において、積極的な事業展開を図っております。

特に、ビットコイン(BTC)、Solana(SOL)を最重要アセットと定義し、ミームコインの領域に注力したディーリング業務が一定程度の成果を上げつつあり、他の上場会社を初めとする企業群より、WEB3に関する問い合わせ、相談が増えてきております。

また、当社の策定した『[「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ](#)』に従い、当社はWEB3.0コングロマリット企業への変貌に向けて、(1)BTC21,000枚の保有、(2)WEB3.0支援先企業500社の確保、(3)C-PBRベースで1兆円兆の暗号資産の保有(Book valueベース)を最重要KPIとして掲げており、本件の実現に向けて開発リソースの確保は必須となっている状況です。

当社自身、取引先・役員・社員間のノウハウを活用しながら培ってきたWEB3事業ノウハウには確かな手応えを感じており、今後も引き続き、WEB3領域におけるコンサルテーション事業を伸ばしながら、自己勘定によるディーリング事業に励むこととなりますが、開発のリソース・ノウハウが当社に欠けており、開発コストを可能な限りインハウス化し顧客へのWEB3.0ソリューションを、高利益率を維持しながら提供できる環境を維持すべく、今般、Metabitと協議をした結果、本件の個別開発契約締結に合意が得られましたので、本日の契約締結に至っております。

2. 個別開発契約に含まれる内容

GFA Capital社を初めとし、当社グループは、自己勘定による暗号資産ディーリング事業、暗号資産市場におけるトークンエコシステムの最適化を支援する業務過程のなかで、相応のノウハウを蓄積してきました。トークノミクスの設計、ミームコインのコミュニティ形成、逆有償型広告モデルの実証実験等、マネタイズがまだ見出されていない最先端のWEB3領域のなかで、一定程度の成果と実績を積み重ねつつあるのが現状であります。

一方で、コンサルテーションやアドバイスのみの業務領域においては、コンサルテーションサービスそのものが属人的なモデルであり、事業利益を最大化するうえでスケーラビリティの課題が常に存在します。そこで、当社は今般の戦略的開発パートナーシップに基づき、当社独自のいわゆるBaa

(Blockchain as a Service) 戦略を採用し、当社独自のプロダクト開発を通じ、多くの法人顧客に対して当社単体で完結するエンタープライズソリューション提供を行ってまいります。

具体的には、(1) コンサルテーション、(2) クリプト戦略(トークノミクス等)の策定、(3) 事業モデルの構築、(4) 開発にまつわる要件定義、(5) プロダクト開発と納品、(6) プロダクトの運用支援、(7) 国内外大手取引所のリスティング、(8) リスティング後の Market Making 等を、ワンストップで提供していくことを目指していきます。

この業務フローにおいては、前述のとおり、GFA Capital 社を初めとした、当社グループが当自己勘定による暗号資産ディーリング事業、暗号資産市場におけるトークンエコシステムの最適化を支援する業務過程のなかで、相応のノウハウを蓄積してきたこと、またグループ間やパートナー先との協業によるネットワーク戦略(GFA エコシステム)で(1)～(3)までを担い、特に海外市場における企業間でのブロックチェーンに関する事業を行い、これまでに「にゃんまる」の IP 元である株式会社マルハンが参加している TAMAGO プロジェクトや現代の江戸を再現したメタバース空間「江戸バース」における開発ノウハウとリソースを持ち合わせる Metabit が(4)～(8)を担うことで、両社のステークホルダーに対する利益貢献を最大化するとともに、長らく当社の課題であった安定的なストック収入の構築を実現していきます。

また、Baas 戦略の遂行に向けた一歩として、当社が策定した『「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ』に従い、以下の具体開発項目を契約締結し、それぞれの時期に合わせて、マイルストーンごとに当社オリジナルの“WEB3 ローンチパッド”を提供していくこととなりました。

・Meme factory

- Meme coin を簡易に作れるソリューションを実装します
- 当社グループ顧客は、Meme factory を通じ、簡易に国産ミームを生み出すことができます

・GFA MM

- CEX 対応型マーケットメイキングシステムを自社で実装します
- 当社の支援するミームコインの CEX に対するリスティングを想定し、リスティング後に円滑なマーケットメイクが自社で行えることを目指します
- DEX に対するマーケットメイクについても実装を想定し、当社が支援するミームコインの価値が安定的に成長することを目指していきます

・Nyanmaru エコシステムを強固にするアセットバック型トークン設計

- 当社が支援する Nyanmaru Coin の周辺エコシステムをサポートする、ゴールドに対応したアセットバック型トークンの発行スキーム、スマートコントラクトの実装を行います
- 当社が支援するミームコインの価値上昇に向けて、周辺エコシステムからミームコインプロジェクトに贈与・贈呈されたアセットバック型トークンの価値を本源価値として提供できる周辺応用技術を実装します

・MVMNT における Nyanmaru Coin 決済機能の実装

- 当社が支援する Nyanmaru Coin の価値上昇に向けて、当社が長期計画において最重要視するプロダクト、MVMNT に Nyanmaru Coin の決済機能を実装します
- MVMNT の購入することで自動的に寄付が行える仕組みをベースに、Nyanmaru Coin を決済すると、世界に自動で寄付が行える贈与経済の仕組みが実現し、Nyanmaru Coin の時価総額最大化に向けて、同プラットフォームと連携し、引き続きコミットしていきます。

当社は、本個別開発契約を皮切りに、Metabit とより顕密な開発連携を行い、当社が策定した『「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ』を実現していきます。

中期経営計画の実現に必須となる、自社オリジナルのエンタープライズソリューションを開発する計画を立案するとともに、クライアント向けの受託開発を協業で利益創出することを目指し、尽力していきます

3. 個別開発契約の相手先概要

(1)	名 称	Metabit.SDN.BHD.	
(2)	所 在 地	No. 78A & 78B, Jalan Eko Botani 3/2, 79100, Iskandar Puteri, Johor, Malaysia	
(3)	代表者の役職・氏名	CEO 松田 元	
(4)	事 業 内 容	コンピュータコンサルティング、コンピュータプログラミング業務、その他の情報技術サービス業務	
(5)	資 本 金	1,000RM	
(6)	設 立 年 月 日	2023年1月6日	
(7)	大株主及び持株比率	Wowoo Pte.Ltd. 100%	
(8)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	松田代表は当社取締役、当社子会社 GFA Capital 代表取締役も兼任しています。
		取 引 関 係	該当事項はありません。
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。	

4. 今後の見通しについて

本件が現時点において当社の 2025 年 3 月期の連結業績に与える影響につきましては軽微である見込みですが、2026 年 3 月期以降については精査中であります。

今後、両社で実施していく協業に関しては、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。

以 上